



「ふってまわってつながって」

9月26日 由良こども園 運動会

26年度
決算 **借金11億円減** 2

庁舎統合に賛否 4

町政 **ここを問う** 7



<http://www.e-hokuei.net>

北栄町議会

検索



こんな事業やりました。

- ふるさと北栄基金事業 1億3389万円
- 大栄庁舎ほか空調設備更新 1億3732万円
- 緊急防災・減災事業 5648万円
(防災無線屋外子局8局増設・消防自動車1台更新)
- コナンのまちづくり事業 1869万円
- お試し住宅事業 1084万円
- 就農条件整備事業 1463万円
(パイプハウス・動力機械ほか)
- 担い手育成支援事業 3598万円
- 社会資本整備総合交付金事業 8479万円
(町道3路線の改良工事)
- スクールバス管理事業 711万円
(北条小学校スクールバス1台購入)



東新田場から乗る子どもたち

質疑あれこれ

- 問** 飯田 正征

①空き家審議会は、主に机上審議で、現地での実態調査を行っていないのではないか。

②各種がん検診で、要精密検査と判定された後の精密検査受診率が軒並み下がっている。その対応策は。

答 大庭住民生活課長

①当初は現地写真と状況資料で審査していた。今後は案件が多いが、現地調査をしていきたい。

②現在も受診継続中で受診率は上がっている。下がったのは「大腸がん」の要精密受診であり、個別に受診を促している。

問 田中 精一

①周囲の雑木が大きくなり、蜘蛛ヶ家山山頂からの眺望ができなくなった。伐採をすべきではないか。

②現在、TCCの筆頭株主は湯梨浜町となっている。せめて3町の持ち株比率を、対等とすべきではないか。

答 伊垢健康推進課長

①自然を形成する大切な樹木もあり、すべて伐採はできない。枯れ木対策や森林対策とあわせて検討してみたい。

②TCC役員会等で協議したい。
- 問** 池田 捷昭

①ワイン加工用ぶどうの実証栽培は、成果が得られるのか。管理体制に問題があるのではないか。

②決算書の公有財産目録に北栄町持分の北栄中学校用地が記載してない。記載すべきではないか。

答 手嶋産業振興課長

①自然を形成する大切な樹木もあり、すべて伐採はできない。枯れ木対策や森林対策とあわせて検討してみたい。

②TCC役員会等で協議したい。

問 手嶋産業振興課長

①生産部会の役員8名で維持管理されている。推移を見守りたい。

②北栄中学校を廃止した場合の用地の北栄町持分「3分の1」は、覚書を交わしているが、持分登記はされていない。したがって決算書の財産目録に記載していない。何らかの形で記載することを検討してみたい。

○町債残高内訳 (平成27年5月31日現在)

会計名	25年度末現在高	26年度末現在高	増減額	
一般会計	878,774	842,792	△ 35,982	
特別会計	住宅新築資金等貸付	2,643	1,887	△ 756
	下水道	1,212,748	1,168,745	△ 44,003
	農業集落排水	11,194	10,112	△ 1,082
	風力発電	78,286	52,240	△ 26,046
	介護保険	992	0	△ 992
	合併処理浄化槽	5,016	4,849	△ 167
合計	2,189,653	2,080,625	△ 109,028	

○基金残高内訳 (平成27年5月31日現在)

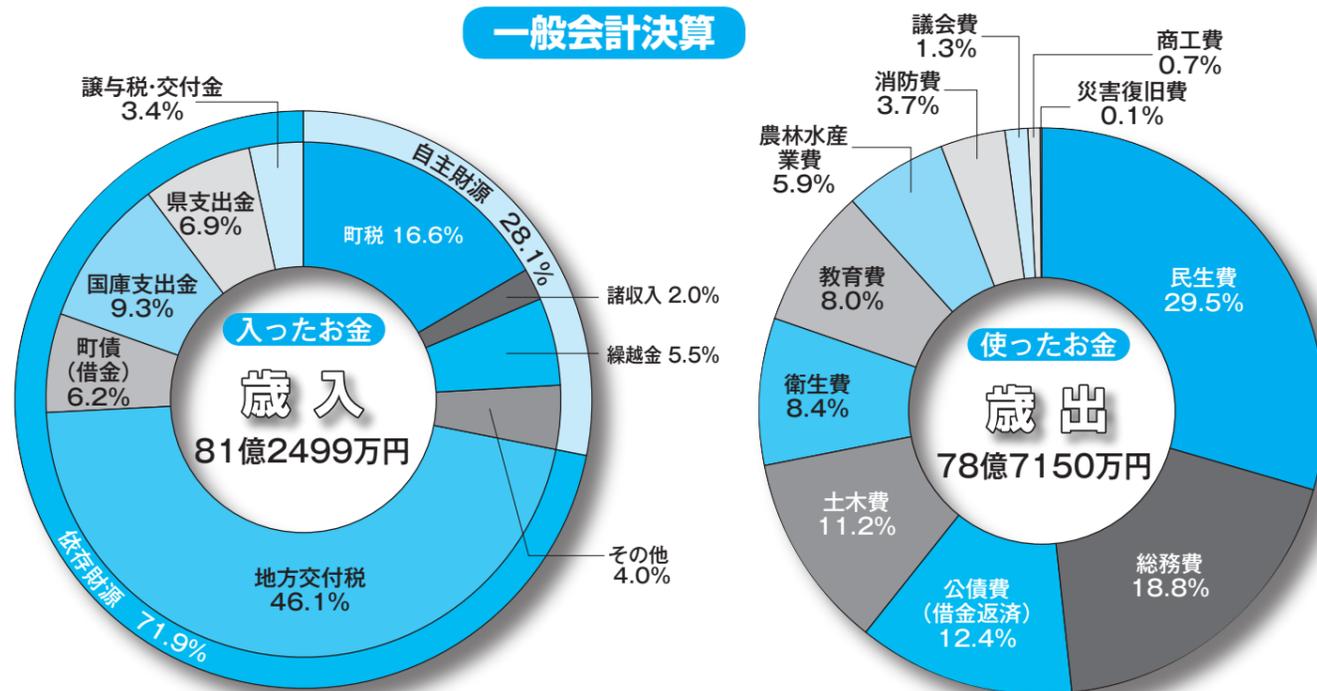
内訳	25年度末現在高	26年度末現在高	増減額
財政調整基金ほか全16基金	313,018	347,722	34,704

26年度決算 認定 3億4千万円を積立

町債(借金)は減少傾向

9月定例会は、9月7日から18日の12日間の会期で開きました。平成26年度決算認定のほかに、提案された条例や補正など、11議案を可決しました。一般会計、10の特別会計と水道会計の決算を審議し、全て認定しました。

一般会計決算は、実質収支2億2719万円の黒字でした。特別会計の決算は、昨年度に引き続き住宅新築資金等貸付会計と下水道会計が赤字となりました。基金の残高は、前年度に比べ3億4千万円の増となりました。借金となる町債の残高は、前年度に比べ10億9千万円の減となりました。



会計	項目	決算額 (単位: 万円)			審議結果
		歳入 (A)	歳出 (B)	※繰越額 (C)	
一般会計		812,499	787,150	2,630	賛成13: 反対1
主な特別会計	国民健康保険	190,604	190,410	0	賛成13: 反対1
	介護保険	167,029	163,117	0	賛成13: 反対1
	住宅新築資金等貸付	701	3,892	0	全会一致
	下水道	120,376	120,006	2,255	賛成13: 反対1
	風力発電	57,129	47,743	0	全会一致
	大栄歴史文化学習館	5,604	5,246	140	全会一致
	後期高齢者医療	14,549	14,513	0	賛成13: 反対1
	実質収支 (A-B-C)				22,719

※繰越額 H26年度に事業実施されなかったため、翌27年度に実施することになった額。

質疑あれこれ

庁舎統合費に 意見割れる

一般会計補正予算

一般会計補正予算の庁舎統合整備費843万円について、減額修正案が提出され、反対多数で否決されました。その後、補正予算については、賛成多数で、原案どおり可決しました。

修正動議

発議者

前田 栄治
池田 捷昭

理由

合併前に、分庁舎方式にして、町民に納得してもらい議決した。財政的・行政的に必要のない庁舎統合を提案すること自体、背信行為である。

問 油本 朋也

町長の説明は「サービス向上のための統合である」とあるが、分庁舎の方が有益とする理由は。

答 前田 栄治

財政面（旧庁舎の維持管理費）合併特例債期限前のかげこみ。行政面（指示命令は2ヶ所でも十分伝わる）災害対応時の危険分散にもなる。

問 斉尾 智弘

北条庁舎を使用するのであれば、耐震補強が必要ではないか。

答 前田 栄治

北条町と中部ふると広域連合で費用分担をして、耐震補強工事をすれば良い。

修正案の賛成討論

池田 現有施設は有効活用すべき。

長谷川 地区説明会に町民参加者が少なく、町民への説明が不足している。町民の同意が必要である。

阪本 町民の思いを第一に考え、各自治会で説明会を開催し責任を果たすべき。

賛成議員

池田・前田
阪本・飯田
長谷川

反対議員

浜本・田中・山下
森本・宮本・町田
斉尾・油本・津川



駐車場予定地の雑林

原案の賛成討論

田中 将来を見据えた庁舎統合は、遅きに失した。北条地区に総合窓口を設置し、地域振興などにも取り組んでいくため。

津川 大栄庁舎、東隣りの別館は大変古く、改修・建替が必要である。

斉尾 1市4町での合併の機運は高まっている。北条・大栄地区の良さを大切に、また、各施設の特徴を活かして使用することが、良い北条町になっていく。

賛成議員

浜本・田中・森本
宮本・町田・斉尾
油本・津川

反対議員

池田・山下・前田
阪本・飯田・長谷川



討議を実施

庁舎統合に関する各議員の考えを明らかにするため、初めて討議を行いました。詳しくはホームページをご覧ください。

一般会計補正予算

ドローン

問 宮本 幸美

ドローンの使用目的は。

答 小澤政策企画課長

広報の情報発信や災害等の被害状況の確認に使用。

問 津川 俊仁

操作の講習や資格は、いらないか。

答 小澤政策企画課長

資格は必要なく、操作して覚える。慣れた職員が複数で担当する。



導入予定のドローン

問 長谷川 昭二

広報使用だけでなく、各課で活用できないか。また、上空での撮影は、個人情報保護が守れるか。

答 小澤政策企画課長

各課の事業に活用するが、操作は担当課で対応する。個人情報保護の映像は慎重に取り扱う。

あわせて掃除も

問 津川 俊仁

大誠こども園の工事請負で、足場を組むなら天井の掃除や、窓掃きもしてはどうか。

答 西村教育総務課長

天井の照明10基をLEDにする。既設の昇降機が塩害で使用できないため、足場を組んで交換。掃除は検討する。

誰に貸す

問 池田 捷昭

旧東保育所の貸受者の概要は。

答 手嶋総務課長

倉吉市 鳥取夢未来舎 障がい者就労支援事業所 賃貸契約 平成27年8月～平成32年3月 職員数 9名

大栄体育館耐震工事

見込みが甘い

問 飯田 正征

主な変更理由は、施工中に南面外壁の胴縁の腐食や犬走りの沈下が判明したためとしているが、前もってわからなかったのか。見込みが甘いのではないか。

答 杉本生涯学習課長

耐震補強工事を進めるなかで、想定以上の傷みであったため、補正をお願いした。



犬走りにできていた空洞

〔決算認定以外の議案審議結果〕

条 例	内容	結果
個人情報保護条例の一部改正	(マイナンバー法の一部施行に伴い)	全会一致
税条例の一部改正	(//)	全会一致
手数料条例の一部改正	(マイナンバー法による通知カード等の再交付)	全会一致
特別医療費助成条例の一部改正	(対象年齢の変更)	全会一致
※北条町の地酒類による乾杯に関する条例	(町内産業の活性化に寄与)	賛成5：反対9
一般会計(第4号)	(地方交付税等 3億4353万円)	賛成8：反対6
介護保険特別会計(第2号)	(国への返還金 4055万円)	全会一致
歴史文化学習館特別会計(第1号)	(照明器具の修繕等 218万円)	全会一致
水道会計(第2号)	(松神水源地の解体 353万円)	全会一致
まちづくりビジョンの変更	(総合戦略との整合)	全会一致
工事請負変更契約の締結	(大栄体育館耐震補強工事 529万円)	全会一致
損害賠償に係る和解及び額の決定	(松くい虫防除の空中散布による賠償 4340円)	全会一致

※詳しくはホームページをご覧ください。

ここを問う

質問席

9月定例議会では12人の議員が
22問の一般質問を行いました。

質問分野	質問事項	質問者	ページ
政治・政策	北栄ゆら由良 川くだり	飯田 正征	8
	甘い予算編成	田中 精一	
	町営住宅由良宿団地	津川 俊仁	9
	合併10周年の検証と課題	池田 捷昭	
	まちづくりビジョンの見直し	阪本 和俊	
地方創生	戦争・被爆体験の継承	斉尾 智弘	10
	山陰自動車道と周辺整備	山下 昭夫	11
	町総合戦略	長谷川昭二	
	北栄町版CCRC構想	斉尾 智弘	
庁舎統合	結婚支援	浜本 武代	12
	庁舎統合	池田 捷昭	
福祉	庁舎統合	前田 栄治	13
	後期高齢者医療保険	長谷川昭二	14
子どもの貧困対策	阪本 和俊		
生活・環境	生活困窮者の学習支援	斉尾 智弘	15
	シニアスポーツ教室	浜本 武代	
	火災警報器の設置	飯田 正征	16
	危険建物の撤去	田中 精一	
	交通対策	町田 貴子	17
	女性消防団員	森本真理子	
生活・環境	法定外公共物の維持管理	池田 捷昭	18
	道路と水路の管理	斉尾 智弘	

請願・陳情審査結果

請願・陳情件名	請願・陳情者名	採決	委員会の意見
集团的自衛権行使を具体化する「安全保障関連法案」に反対するよう求める請願	憲法改悪反対鳥取県共同センター 代表 田中 暁	不採択 賛成 5 反対 9	国民の理解が得られるほど十分な審議は尽くされていないが、法案の必要性は認められるため
外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	小坪 慎也	不採択 全会一致	平成27年に法改正がなされたばかりであり、現時点では判断ができないため
少人数学級の推進と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請について	鳥取県教職員組合中部支部 支部長 筏津 孝行	採 択 全会一致	社会の基盤づくりにつながる子ども達への教育は極めて重要であり、教育の機会均等と水準の維持向上を図る必要があるため →政府に意見書提出
人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定に関する陳情	在日本大韓国民団鳥取県地方支部 団長 薛 幸夫	採 択 全会一致	ヘイトスピーチ、ヘイトクライムが一日も早く根絶されるためには、速やかな法の整備が必要であるため→政府・国会に意見書提出

賛否あり

賛成 町田 貴子
今年6月の衆議院憲法審査会で参考人3人全員が「憲法違反」と表明。市民団体が国会前で反対集会を開くなど、抗議活動の裾野は広がっている。
民主主義、民意を無視して安保法案を今国会で成立させる必要があるのか。

賛成 長谷川 昭二
この法案での「後方支援」とは、弾薬や燃料の補給、武器や兵員の輸送などの活動で、戦場となるのは常識である。
海外での武力行使を禁じた憲法を踏みにじる戦争法案は廃案しかない。

賛成 浜本 武代
日本は戦後、その大きな犠牲に対する真摯な反省と、痛切な教訓をもとに、反戦の精神を大切に守り育ててきた。その平和と民主主義の理念の方向を決して転換してはならないと強く思う。
多くの法律の専門家が違憲と指摘しているこの法案を、決して通してはならない。



反対議員
田中・池田・山下
前田・森本・宮本
斉尾・阪本・油本

賛成議員
浜本・町田・飯田
長谷川・津川

賛成 津川 俊仁
これまで政治に参画してこなかった若者や母親などが反対の声をあげ行動していることを、なぜ総理は見ようとしなかったのか。
本法案は米国に要請されれば自衛隊が地球の裏側まで行ってしまう、全く歯止め利かない法案である。



護衛艦むらさめ (防衛省HPより)

反対 油本 朋也
世界的には、もはや一国がその国の都合だけで世界平和の維持に尽力している諸外国に、背を向けることはできないのでは。
このような重要法案は十分に納得されるまで審議されるべきだが、将来のわが国の国際的使命を思い、本法案の必要性を認め反対する。

反対 斉尾 智弘
今回の法案は憲法9条の下では他国防衛のための集团的自衛権は認めておらず、自衛の措置に限られた。
多くの憲法学者は学問の性質上、自衛隊の存在自体が違憲という立場をとる。学者と違い政治家は現実には国民の命を守る責任がある。むやみに国民の不安をおおる議論は容認できない。

安保法案に反対する請願



飯田 正征

ゆら由良 川くだり

タイム不計測の防止策

町長 手動も併用

教委長 改善と確認

飯田

リースでタイムが計測できない事態が発生した。これは人為的な過失ではないのか。防止策について伺う。

町長

ストップウォッチが2台とも印字不能となり計測データが消失した。今後の対応として、以下を徹底したい。

教育委員長

今後このようなことがないよう運営体制等の改善と確認を行い、大会を運営する。魅力のある大会となるよう協議する。



瀬戸・宮ノ下橋を出発

町政ここを問う

甘い予算編成

町執行部に不信感

町長 今後は過剰計上しない

田中

6月の予算補正で3月に成立した一般会計当初予算のうち「宝くじコミュニティ助成事業費」と「町営住宅由良宿団地建替設計委託料」が、まだ執行もしないのに大幅減額された。予定していた国などの交付金が、一部しか交付されなかったことが原因のようだが、まさに予算編成時の詰めが甘いと言わざるを得ない。関係住民は失望し、町執行部に不信感を抱いている。

町長

国等の交付金が、採択決定後速やかに事業執行できるよう配慮した予算計上であったが、結果的

に関係者には落胆させたと感じている。来年度からの予算編成では、例年の交付実績等を参考にしながら、過剰計上にならないよう関係機関と十分詰めたい。不採択の団体が再度要望されるのであれば、採択されるよう関係機関へ働きかけたい。



田中 精一



宝くじ事業で購入した和座敷サポートチェア (下神)

由良宿団地の遅れ

町費の投入を

町長 交付金の追加状況で判断



津川 俊仁

津川

由良宿団地の建て替えは、平成27年度基本計画及び本計画、28年度1棟建設・完成・入居という運びになっているが、本計画予算が減額され、本設計のめどが立ってない。予定通り建設を進めるためには、1棟分の本設計予算に単町費を投入してでも、28年度中1棟完成の当初予定に沿った計画を推進すべき。

町長

予定していた社会資本整備総合交付金が減額のため、工事の発注は早くても来年度末になる。当初の計画通りに推進するための単町費の投入は、中期財政計画、合併特例債の残高や基金残高を勘案しつつ、国の追加交付の状況、県内再配分の状況などを考えながら決定したい。計画に変更があればその都度説明し十分な理解を得たい。



建て替えが待たれる由良宿団地

合併10周年

検証と今後の課題

町長 これが町政、検証と課題

教委長 これが教育、検証と課題

池田

合併10周年の節目の検証結果と課題を伺う。今までの住民への効果は、職員の人材育成は。今後は地方交付税、町税は減少の一面をたどり厳しい財政事情が予想される。危機感が見えない。本町だけではなく広域的に考えるべき。中部をどうしていくのか。

町長

健康づくり活動や高齢者福祉も効果をあげ、農業でも活気ある産地づくりを目指し、観光振興、交流の推進の体制を整え、行財政改革も成果をあげている。

今後北条川放水路周辺の地盤沈下問題は、真摯な対応を進めていく。職員は数値目標を作成し、達成に向け取り組んでいる。中部ふるさと広

教育委員長

少人数学級編成、習熟度別学習の推進など、学校教育の充実に取り組んだ。学力は「知識・理解」が全国平均を上回るようになった。「いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ・不登校問題に取り組んだ。今後は社会構造が複雑化し、教育だけでは解決できない問題も起こってくる。今まで以上に国県と連携を取りながら対処していく。



池田 捷昭

町政ここを問う



阪本 和俊



イチゴを使ったショートケーキ

まちづくりビジョンの見直し イチゴは失敗する

町長 中部広域で検討

阪本 ①創生会議とまちづくりビジョン検討委員会での議論の結果をもとに制定した総合戦略案、ビジョンの改定案の最終確認を行い、広く町民から意見を募集されたが、その結果をどう反映するのか。

②イチゴの周年栽培の取り組みが示された。これには高度な技術と経験が必要で設備投資も大変。計画ありきで失敗すると思う。十分な検討が必要である。

町長 ①地方創生への取り組みに不可欠な視点として、町民に周知徹底し全員で取り組みを実践すること、農業や観光、文化など幅広い分野への意見をいただいた。私を本部長とし管理職と対策本部を立ち上げ、具体的施策について検討する。

②イチゴは大手洋菓子メーカーが、全量買い取るため産地化に取り組み計画を盛り込んだ。JA、県、町とで研究会を開き課題を共有した。実施にあたっては、中部の市、町の広域で検討していく。

戦後70年 戦争・被爆体験の継承

町長 定時放送で
教委員長 すでに平和学習を実践

教育委員長

斉尾 ①原爆投下日のサイレンをやめた理由は、80歳を超え、体験を語り継ぐことは時間との闘いである。若い人たちに戦争体験の継承をし、平和の大切さを訴える取り組みが必要。

町長 ①住民から苦情があり平成23年度から当日朝の定時放送で原爆投下時刻をお知らせし、黙とうを捧げるよう呼びかける形にした。役場内では投下の日に黙とうを実施している。今後は、町報やホームページ、ツイッター等での呼びかけの実施も検討したい。

②平和についてしっかりと学習し、決して戦争を覚えていかなければならないと考えている。小中学校においては、発達段階に応じて社会科や総合的な学習、学校行事などを通じて戦争の悲惨さや平和の誓いについて学び、他の児童生徒に伝える取り組みを行っている。



斉尾 智弘



県被爆協発行の体験文集

山陰自動車道と周辺整備 開通にどう対応

町長 通過点にさせない



山下 昭夫



お台場付近の自専道予定地

山下 山陰道・北条道路が自動車専用道路として整備されることが、ほぼ決定したようだ。町として開通に照準を合わせた「大栄道の駅」の拡充、「コナン通りの整備、町商工会の「集合店舗構想」等に、どう対応しようとしているのか。

町長 山陰道の県内全線開通で、単なる通過点にさせないよう、誘客を促進する仕掛けづくり、魅力づくりが必要である。具体的には「大栄道の駅」移転や増設を検討したい。コナン通りのさらなる見所の充実と、飲食施設の設置を働きかけたい。町商工会の集合店舗は、来年夏ごろのオープンをめざして動き始めたので、バックアップしたい。

企業誘致・支援 専門職員の配置を

町長 現行体制で

長谷川 地方創生の総合戦略の施策で次の3点は、①雇用創出は最重要課題である。企業誘致や企業への支援など専門的に業務に携わる職員体制が必要。

②新規就農する場合の初期投資の支援は。

③国の支援がなくても進めるのか。

町長 ①産業振興課の農商工推進室で対応する。専門性が必要となる事業は、国や県、県産業振興機構、大学等と連携し取り組む。

②国、県と連携した支援を導入。

③人口減少に歯止めをかける取り組みであり、国からの支援が得られない場合は、他の補助金を検討する。



長谷川 昭二



企業誘致は産業振興課で

町政インタビュー

町政インタビュー

庁舎統合

住民投票の実施を

町長 議会で判断



池田 捷昭

池田

合併前、町長は北条庁舎を分庁舎とする提案をし、議会は全会一致で議決した。庁舎を統合することは、議決を覆すことになる重要事項である。自治基本条例第15条による住民投票で住民の意思を確認した上で、賛否を決すべきでは。

町長

合併協定書の記載が絶対的なものではなく、その時々々の社会情勢にあった判断をすべきと考える。庁舎統合は町長と議会が責任をもって判断すべきである。住民投票は直接住民の意思を反映するが、住民間にしこりを残す可能性もあり、取り扱いは慎重にしたい。この問題は住民投票ではなく、議場で決めていただきたいと考えている。



大栄庁舎

CCRC 構想

移住者の増加は

町長 情報収集を



斉尾 智弘

斉尾

地方に移住する高齢者の受け入れ拠点として医療、介護、生涯学習をかなえるなど総合的な機能を備えた日本版CCRC構想が進んでいる。本町はどう考えているのか。
※CCRC＝生涯活躍のまち。元気な中高齢者移住の受け皿となる、幅広い年齢層、居住者や地域住民による多世代交流機能と安心の医療・介護機能を備えた生活共同体。

町長

人口ビジョンでは、目標達成のため若者や子育て世代に重点を置いた施策を進める。CCRC構想については、今後の制度の具体化や導入に向けて検討されている県内の状況について情報を収集し検討していきたい。



高齢者向け住宅（べるびゅー大栄）の食堂



前田 栄治

前田

地域座談会を6月に8会場で開催され、庁舎統合について説明された。反対意見はなかったということであるが、座談会だけで町民の合意形成がなされたと考えているのか。昨年12月議会において、住民アンケートを実施してはという提案に、検討したいという答弁をいただいたが、

町長

検討した時期と結果を聞きたい。平成22年9月に全員協議会で統合の方針を説明し、平成23年の地域座談会において町民の皆さんに説明して以来、4年以上にわたりこの問題について協議してきた。今年度の座談会で、ご意見、質問とともに不安の声も

庁舎統合

住民アンケートの実施は

町長 課題の説明が先決

あったが、理解、賛成の声も聞いている。地域に向き、統合の方針について理解をいただいたと感じている。

庁舎統合を実施し、課題を解決していく。アンケートの結果によって実施の有無を判断するのではなく、課題を直接住民に説明していくことが先決であるとの結論に至った。



北条庁舎



浜本 武代

浜本

婚活事業が大変難しい現状の中で、結婚について地域での応援体制や出会いの場を提供していく必要がある。気軽に相談できる場づくりへの取り組みは。

町長

今年度、男女の出会いの場として婚活イベントを2回実施し、6組のカップルが成立した。しかし、婚活事業を実施する上で女性の参加者が少ない。これを踏まえ、中部地区での広域連携が効果的であろうと考え、中部地区担当で検討を始めた。また、相談体制は民間で実施し、町は広報等で支援し、官と民で協働推進していく。



地域の人に見守られて

結婚支援

応援体制は

町長 広域連携で検討

学習支援の拡充

自立するために

町長 事業効果を検証・分析



斉尾 智弘

斉尾

生活困窮者自立支援制度の学習支援を拡充するため、次の3点を伺う。

- 1 指導者として、教員OBの力を借りること。
- 2 支援対象者を小学生まで広げること。
- 3 鳥取中央育英高校の生徒さんにボランティアとして関わっていたこと。

町長

1 教員のOBを活用することについては制度的には可能ではある。

2 3 鳥取中央育英高校の高校生ボランティアは制度的には対応可能である。事業対象を小学生まで広げ早い段階で学習習慣を身につけることは、学力向上につながる要素であり、教員OBも合わせて高校生ボランティアの活用も検討できると考えている。

しかしながら、個人情報の取り扱いや学習指導能力、事業実施方法など多くの課題がある。現行の事業効果を検証・分析し、再度検討したい。

後期高齢者医療保険

特例軽減は必要

町長 さらなる激変緩和措置を



長谷川 昭二

長谷川

後期高齢者医療制度は、低所得者の保険料を最大9割軽減する特例措置がある。これを段階的に廃止する医療制度改革法が成立した。特例軽減の廃止により保険料は2倍、3倍に。被扶養者は10倍になる等の試算もある。国に対し、特例軽減を廃止しないよう求められている。

町長

持続可能な医療制度や国民皆保険を維持するために、特例措置の廃止も含め、制度改革法が成立した。この廃止により、負担が大きい場合には、さらなる激変緩和措置等も必要であり、その場合は広域連合と連携し国に要望する。

後期高齢者医療被保険者証	
有効期限平成28年7月31日	
被保険者番号	12345678
住所	〇〇市〇〇町〇〇番地
氏名	見本 広城 花子 女
生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日
資格取得年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
資格喪失年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
交付年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日
一部負担金の割合	●割
保険者番号並びに保険者の名称及び印	39311 鳥取県後期高齢者医療広域連合 印

県広域連合発行の保険証

子どもの貧困

その対策は

町長 生活保護の適正な運用
教委員長 総合的な支援

阪本

1 全国的に子どもを巻き込んだ残酷な事件が続発している。理由は貧困が要因の一つと考えている。

学が、遊ぶ、医療を受けるなど子どもにとって当たり前の生活が難しい状態になっている。原因究明し対策を講じるべきと思う。

2 教育現場での給食費

町長

生活保護の状況は、受給者は70名54世帯。一人親家庭は3世帯。町に移管されてから受給者は減り、この1〜2年は減少の傾向があるように思う。

認定の数が減っているのではなく、就労等による保護の廃止や転出、死亡等の数がそれを上回っているように思える。最低限度の生活保障と自立を助長することが目的で、さらに積極的に相談事業に取り組む。

教育委員長 給食費の滞納は、増加傾向にある。不登校の状況は平成26年度いじめの認知数29件不登校は11名であった。子どもの貧困に関する法律が施行されて、貧困、学力保障等の総合的な支援を展開するため、就学援助制度の活用を努める。



阪本 和俊

シニアスポーツ教室

送迎はできないか

町長 町としても検討

浜本

スポーツクラブのシニアスポーツ教室は、毎週2回実施され、高齢者の健康維持や健康寿命の延伸に効果が上がっている。

このシニアスポーツ教室を利用したいが、車の運転ができない町民の方を送迎できないか。スポーツに親しむ機会の提供のためにも検討を。

町長

シニアスポーツ教室は、自力での参加を基本とし送迎はしていない。近所で誘い合い、乗り合わせでの参加もある。参加者が多く、今後の体制も考慮の上、町としてできることを考える。



浜本 武代



バランスボールで健康維持

町政いじりを問う

外出支援

より便利な交通手段

町長 当面は現在のままで



町田 貴子

町田

生活に欠かせない交通手段の確保は最も重要な課題である。本町では、乗り合いタクシーを実施し、助成を行っているが「利用しづらい」などの声がある。兵庫県豊岡市の取り組み（車を市が購入し、地元住民が作る協議会に貸与し、経費も市が負担する乗り合いタクシー。乗り場は個人宅前、上限2000円）等を参考に町民のための移動手段の確保を進めてはどうか。

町長

本町では、豊岡市とは違い、乗り合いタクシーを民間タクシー業者へ委託している。現在は西高尾駐車場から青山剛昌ふるさと館まで、1日往復5便、料金は大人2000円で運行し、平成26年度の延べ利用者数は390人。この実績とともに、費用的なものと比較しても、当面は現在のままで運行を続けたい。



もっと利用しやすく

火災警報器

設置の確認

町長 適正設置を啓発



飯田 正征

飯田

平成23年6月に全ての住宅へ火災警報器の設置が義務付けられた。設置した住宅では火災による死亡率が下がっているが、本町において今年2件の住宅火災が発生、3名の尊い命が失われた。本町は火災警報器を全戸に無料配布しているが、配布後に設置状況の確認を行っているか。広域消防、町消防



設置された警報器

町長

消防署、消防団、関係機関と協力しながら住宅用火災警報器の一層の適正設置について広報・啓発を行う。火災予防啓発を推進し、これ以上火災による被害が出ないように取り組む。

団、自治会自衛消防団、自治会の協力を得て各家庭を訪問し、設置を推進してはどうか。

危険建物の撤去

補助金の遡及適用を

町長 考えていない

田中

由良宿二区区内にある火災後の工場跡が、いまだ放置されている。平成26年3月に制定した空き家適正管理条例の効果に期待したが、いっこうに進展せず、肩透かしを食らった思いである。この際、今年から本町独自で創設した「火災による廃棄物処理費等補助金」を

見直して本物件に補助金を遡及適用し、解体・撤去交渉を進展させてはどうか。

※遡及（そきゅう）適用＝条例や制度の効力が、その施行以前に生じた事項にまで及ぶこと。

町長

あくまで所有者による解体・処分がなされるよう、話し合いを重ねている。見通しとしては、所有者は前向きに考えているので、今のところ行政処分となる「命令」や「公表」を行うことは考えていない。また、提案の単町補助の遡及適用は、以前の火災で自力解体・撤去された罹災者との間に不公平が生じることから、考えていない。



田中 精一



放置された火災建物

女性消防団員 活動の現状

町長 広報などの後方支援

森本

全国各地で大規模な災害が発生し、避難所での応急救護、特に細やかな気遣いが必要な高齢者や子どもにとって、女性消防団員の存在は欠かせないものとなっている。本町の、4名の女性消防団員の活動内容、待遇は。

町長

女性団員は消火活動などの前線には出ず、主に防火啓発、広報活動といった後方支援を担っている。まずは、女性消防団員について、正しく広く知っていただくことが必要である。積極的に活動の場を広げ、住民のみならずの目に触れる機会を増やして、実際の団員の姿を伝えていきたい。年間報酬36,500円、出勤手当は一回につき4,200円。被服の貸与、5年以上になると保険や退職報償金が支払われる。



森本 真理子



9月13日の総合防災訓練で指導中

町政（こ）を問う

町政（こ）を問う



池田 捷昭

法定外公共物

今後の維持管理は

町長 現状維持

池田

※法定外公共物の

所有権・管理義務が国から市町村に譲渡された後、当然地方交付税の措置は講じられているが、それを担う土地改良区の業務量が増えた。組合員も高齢化し管理が大変であり、職員給与も低く抑えられている。

※法定外公共物＝道路法や河川法といった法律の適用又は準用のない道路や水路のこと。具体的には住民の身近にある里道や水路のこと

町長 法定外公共物は今後も関係者、自治会で管理運営を行っていただきたい。水路など土地改良区の施設が存在する場合は、土地改良区と受益者に維持管理していただき、大規模な修繕は補助事業により進めたい。維持管理は今後も自治会、関係者、土地改良区と連携しながら行う。土地改良区の運営移管は現時点では考えていない。

町長

法定外公共物は今後も

道路と水路の管理 住みやすい環境

町長 必要があれば改修も

斉尾

国坂東自治会から

みどり団地に至る南側の水路は勾配が少なく水はけが悪い。ハエや蚊の発生源となり大変困っている。

町長

国坂東自治会の南側水路は流れが悪く、必要があれば改修も考える。

みどり団地南側の道路は町道部分に雑草が多く、交通事故が発生しやすいよう管理していく。通学路の安全対策は周辺関係自治会住民への交通安全指導、保護者への啓発を進めていく。



斉尾 智弘



みどり西団地の南側水路

一般会議

集合店舗建設に支援を

議会基本条例に基づき、9月29日に商工会と一般会議を開催しました。商工会19人と議会11人が、下記5項目について、意見交換をしました。

- (1) 免許センター跡地への集合店舗並びに運営に係る支援策について
- (2) 商工担当専門課の新設による商工業者の育成支援の強化について
- (3) 事業所の雇用の確保と若者の地元定着について
- (4) 北栄町の発注する公共工事について
- (5) 県立美術館&まんがミュージアムの誘致について



※意見交換の内容は、次号で掲載いたします。

追跡 あの質問はどうなった？

【平成26年9月・10月行政報告会】

町民運動会、もっと参加を！

問 【田中 精一】参加チームの増加策として、両地区を交互開催すべき。

答 【杉本生涯学習課長】検討したい。

大栄地区（お台場公園）で初開催



9月27日（日）町民運動会

今年で5回目を迎えた町民運動会。過去4回はすべて北条中学校グラウンドで開催してきたが、参加チームは第1回の32チームをピークに年々減少。参加増加策として北条・大栄地区での交互開催を提案してきた。その結果、お台場公園で開催されたが、残念ながら昨年の24チームから1チーム減少であった。



かわいい 双子 ちゃん

掲載 双子ちゃん 募集中

横山 聖菜さん・瑠以くん
 (左) (右) (11歳・大谷)

聖菜は、なわとびが得意、瑠以は、ゲームが大好きです。
 4世代、7人家族です。2人とも健康で、やさしい子になってほしいと思っています。



田中 海斗くん・七海さん
 (左) (右) (11歳・田井)

将来の夢は、海斗が「長生きしたい」、七海が「外国に住みたい」です。
 家族で行った東京旅行は、大切な思い出です。元気で素直に育ってほしいと思います。



知っとんなる? こんな北栄

旧海軍分遣隊駐屯隊跡の門柱 (国坂浜)



周辺一帯数か所に、かつて海軍の通信基地があったことを物語る門柱が残る。
 町内で見ることのできる軍事遺構である。昭和13~14年頃、日華事変の終息を見ないまま、より大きな戦争体制へ入り込もうとしていた。
 ここは舞鶴につながる日本海沿岸で、その通信基地の一つである。基地には終戦まで軍人、軍属が配属されていた。

北栄町役場大栄庁舎別館 (由良宿一区)



昭和44年4月に旧県立由良育英高等学校・第5校舎として新築された。その後、同校の全面移転に伴い、校舎跡地と第5校舎は旧大栄町が鳥取県から有償で譲り受けた。
 昭和56年10月、同地に大栄町役場が新築移転し、第5校舎は書庫等の付属施設として改装。さらに平成の大合併で北栄町役場大栄庁舎別館に引き継がれてきた。
 このほど9月定例議会で、平成29年4月の庁舎統合に伴い、解体されることが決定した。

編集後記

議員の役割として行政のチエックという側面がある。ところが、ある識者曰く、チエック機能を果たしていればよいという議員がいるが、政策立案や討論も仕事であるという。しっかりと議員力を身につけ町民の付託に応えたい。私自身のいさめとして、ただいた言葉がある。文豪ゲーテ曰く「永久に否定ばかりする。永久に反対の態度を取る(中略)、そういうことをするくらいなら、私はいつでも首をくくって死んだほうがましだ」と。文豪に笑われなように研鑽を積みたい。



発行責任者 議長 井上信一郎
編集 広報広聴常任委員会
 委員長 宮本 幸美
 副委員長 斉尾 智弘
 油本 朋也
 森本真理子
 田中 精一
 浜本 武代